

未来測定所新聞

第2号

縮小版



「私達の未来測定所・秩父おがの」
発行 2012/12月
小鹿野町小鹿野 1833-1
電話 090-9328-4563 (田島)

市民測定所の測定器が届いてから早一年になろうとしております。創刊号をお届けした時の測定では灰やお茶、椎茸、落ち葉等の数値が顕著でした。以後の測定結果の特徴は「野生茸」や野生の鹿、猪、熊などの「動物肉」。さらに「黒い粉」と言われる路肩に集まる黒い物質の数値が顕著でした。追い込まれてしまう茸生産者も大変ですが、野生のキノコ愛好家にも落胆の秋でした。そして「野生獣」の汚染はいよいよ生物濃縮の始まりかとも想像でき、心配がつきません。横瀬のウズバツ240ベクレル。秩父市浦山の二ホンジカ820ベクレルなどが新聞報道され知るところです。さて、「黒い粉」を当所で発見した現場で行政と記者立ち会いの下で測定をし、2万ベクレルの放射性同位元素が確認。しかし、その処理に行政は静観の立場との朝日新聞の記事。調査も処理もされ

ない危険な放射能が各所に存在します。詳しくは次ページをご覧ください。今後福島原発事故から届いた危険な放射能の測定を継続し、環境の汚染の情報発信して行きます。

放射能の心配事のご相談も、お気軽にどうぞ。代表田島昭泉

福島で

切り干し大根からセシウム

毎日新聞の11月7日朝刊によると、福島市で今年2月、切り干し大根から1キロ当たり3000ベクレルの放射性セシウムを検出。基準値を超える検出が相次いだそうです。県農業総合センターは「加工過程で付着したちりが原因」とする研究結果を発表した。実験は松の木の下220ベクレル▽吹きさらしの屋根の下892ベクレル▽軒下3421ベクレルだっ

●PTAの皆さん、お子さんをお持ちの皆さん!

■当測定所では通学路、学校周辺での空間線量(マイクロシーベルト)と放射能濃度(ベクレル)の調査につきましては、ご相談で無料で計測します。危険な環境から子供を守りましょう!

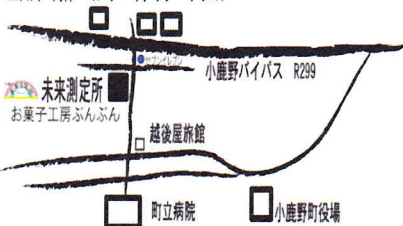
●未来測定所 案内

料金 3,000円(1~2検品)

試料は700CCを細粒状にして搬入してください。まずはご連絡を。090-9328-4563 田島

ホームページは『未来測定所』で検索

三田川・両神 コメリ イチワタ ヤオヨシ



た。干す場所を高さ2メートル、同一メートル、地面の3カ所で調べると、それぞれ90ベクレル、165ベクレル、892ベクレルと地面に近づくに従って高くなった。地面に近づく放射能セシウムを含むちりがたまりやすく倍小高くなると考えられ、県はちりが原因と断定した。そこでなされた注意勧告が切り干し大根、干し芋などは地面で干さないようにとの事です。以上が記事の内容です。

皆さん！子供が息をしている低い位置と大人とでは約10倍も子供がセシウムを吸ってしまうのです！そこを注意しないで食品の汚染だけを感じる感覚はおかしいとおもいませんか？

風の季節。子供達にはマスクをさせるのが最低限の健康管理です。秩父での黒い粉の状況も加味してご注意ください。

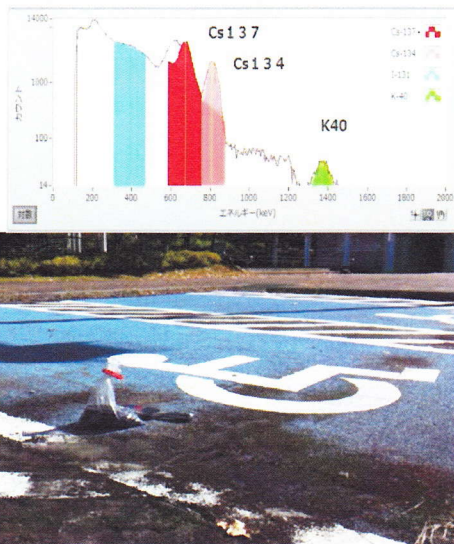
黒い粉 風に舞うチリや埃にご注意を！

吹きだまりの黒い粉は

嚴重管理の放射性物質！?

未来測定所・秩父おがの 田島昭泉

■ 昨年の原発事故により多くの放射能が各地に飛散しました。それを心配する方々の出資で測定器を買い、今年1月から測定を始めて多くの放射能と出会ってきました。7700 Bq (ベクレル) の灰。1300 Bq のお茶。850 Bq の落ち葉。キノコ類は特に野性のもので高い数値が出ております。そして今度は「黒い粉」2万2千Bq/kgでした！



■ この物質は報道やネット上では通称「路傍の土」「黒い物質」



● 駐車上のへこみにたまった黒い粉 約2万2千ベクレル

「黒い土」「黒い粉」などと言われ、路肩や水たまりなどでの濾過現象でセシウムが濃縮されたとする考えと、生物としてカリウムと間違つてセシウムを集めてしまう茸や地衣類の仲間の「藍藻類」とする見方がある様です。私はその双方の効果で高い数値が出るのではないかと思います。



上 車が走って舞い散る埃 (約千ベクレル)

右 路肩に集まる路傍の土 (約4千ベクレル)

空間線量は0.3～0.5マイクロシーベルト程度

■ 報道等で見ると、今年2月に福島県南相馬市内で発見された108万ベクレル (Bq)。5月には東京江戸川区で24万Bq。6月には埼玉県内でも川島町で42万Bq。横瀬町で4万Bqと各地で確認されているようです。

■ 当測定所での黒い粉の秩父管内では①10月に一般の測定客が持参した試料の検査結果が横瀬中学校近辺で6769ベクレル、秩父西小近辺で5788ベクレル。②11月ミューズパーク南口駐車場にて当測定所採集、2万2千ベクレル。③秩父市内某ショッピングエリアで4500ベクレル。

■ さて、この物質の法律上での扱いと行政の扱いには隔たがあります。

まず、文科省の告示『放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律施行令』によれば、1Kgあたり1万ベク

レルを超える放射性物質は嚴重管理なのです。しかるに行政に対応していただこうとすると除染対象の空間線量の毎時1マイクロシーベルトより低いと言うことで静観するということになります。矛盾を感じます。

■ 風に乗って舞い散ったり、車が走ればそれだけでも埃がたち、セシウムが呼吸と共に体の中に入って内部被曝してしまうのではないかと心配です。ドングリを拾うその手に一緒に黒い粉がつき、口に運ばれることもあるかも知れません。たとえ、埋め立てのできる基準値の8000ベクレル以下でも、子供の手の届くところに数千単位のセシウムがあるとすることは健康管理上問題があると感じます。発見を急ぐと共に適切に処置して片付けたいですね。これには積極的に行政に働きかける事も必要です。

左 2万ベクレルの黒い粉下イシクラゲ (藍藻類) の生育している状況。これが黒い粉の元か？採集して測ると3～5百ベクレル。



未来測定所
小鹿野町 1833-1
電話
090-9328-4563